

湖北

NHK大河ドラマ「豊臣兄弟!」の主人公、豊臣秀長の生涯を歴史的見地から考察した新刊「豊臣秀長の真相 関白の弟から見た天下統一」(太田浩司著)が出版された。B6判。216頁。1650円。

本書は秀長が出した文書など、信頼がおける史料を元に論を進めている。ただ、秀長が出した文書は153通しかないことが難点となっている。第1章で秀長の生涯の概要



出版された「豊臣秀長の真相」

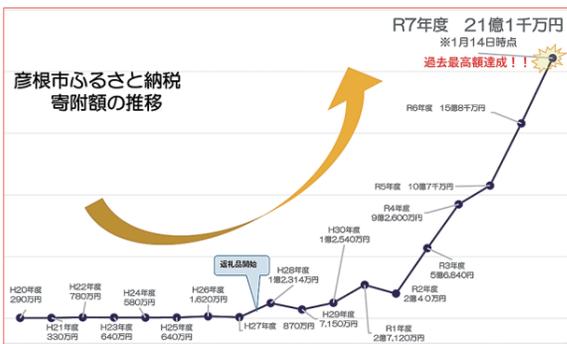
長浜

「豊臣秀長の真相」出版 文書で解く「名代」の生涯

を紹介し、第2章以降の詳説のどの部分に当たるかを示している。読者は第1章から興味のある章に飛ぶことができ

なし、いかなる権限も有する「名代」と位置付けるのが一番適切」と秀長を評している。【長浜通信部・長谷川隆広】

湖東



彦根市ふるさと納税 寄附額の推移

彦根市は2025年度のふるさと納税寄附額が1月14日時点で21億1247万2500円(5万312件)に達したと発表した。過去最高だった昨年度の15億8522万8851円(4万1169件)をさらに上回った。

化対策への注力▽電化製品、ビールといった主力返礼品による寄附額下支え——を挙げている。昨年度に約400品目だった返礼品は、現在は800品目以上に増えている。返礼品別の寄附額ベスト3は①電化製品(ひげそり、歯ブラシなど)が約8億3000万円②酒(ビールなど)が約5億5000万円③近江牛が約2億5000万円。【彦根通信部・伊藤信司】

彦根

ふるさと納税21億円超で最多 返礼充実800品目以上

彦根 ひこね市文化プラザCF 屋根など修繕に500万円目標



クラウドファンディングのチラシ(部分)

「文化の拠点 ひこね市文化プラザ 修繕で市民の活動拠点を守りたい」をキャッチフレーズに彦根市はクラウドファンディングを実施している。

された。施設の一部を通行禁止にして運営を続けている。総事業費4300万円を目標に寄付を募ることになった。1口3000円から。3月22日午後11時まで。 ひこね市文化プラザは1997年2月にオープン。2面の舞台を持つグランドホール(1480席)▽シニールボックスタイプのエコホール(346席)▽多目的に利用可能なメッセホール(270席)のほか、大小リハール室や研修室等が整備されている。【彦根通信部・伊藤信司】

長浜 速水さん、西浜さんが最優秀 人権尊重の標語とポスター

人権尊重の街づくりを進めるため、長浜市が募集した標語(小学生の部)とポスター(中学生の部)の入選作品が決まった。最優秀には、標語「速水陽菜さん(伊香具小6年)、ポスター「西浜橙姫さん(北中3年)」が選ばれた。



最優秀の西浜橙姫さんのポスター